

### はじめに

藤沢市の都市拠点のひとつとして、村岡新駅周辺地区のまちづくりを進めるにあたり、将来地区像や方向性などの「まちのあり方」を示す指針として、「村岡新駅周辺地区まちづくり方針」を定めたものです。

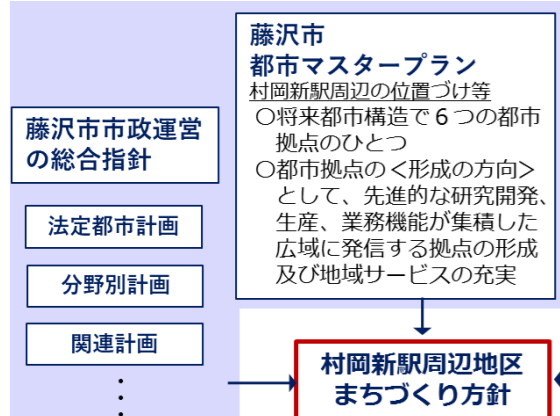
#### 【村岡新駅周辺地区の位置】



#### 【村岡新駅周辺地区の周辺概況】



#### 【上位・関連計画】



村岡・深沢地区の位置づけ/役割  
かながわ都市マスタープラン  
村岡・深沢地区の位置づけ等  
○湘南圏域における新たな地域の拠点  
○新駅設置に向けた取組みとともに、都市基盤の整備を進め、新たな研究機能及びまちづくりとの連携

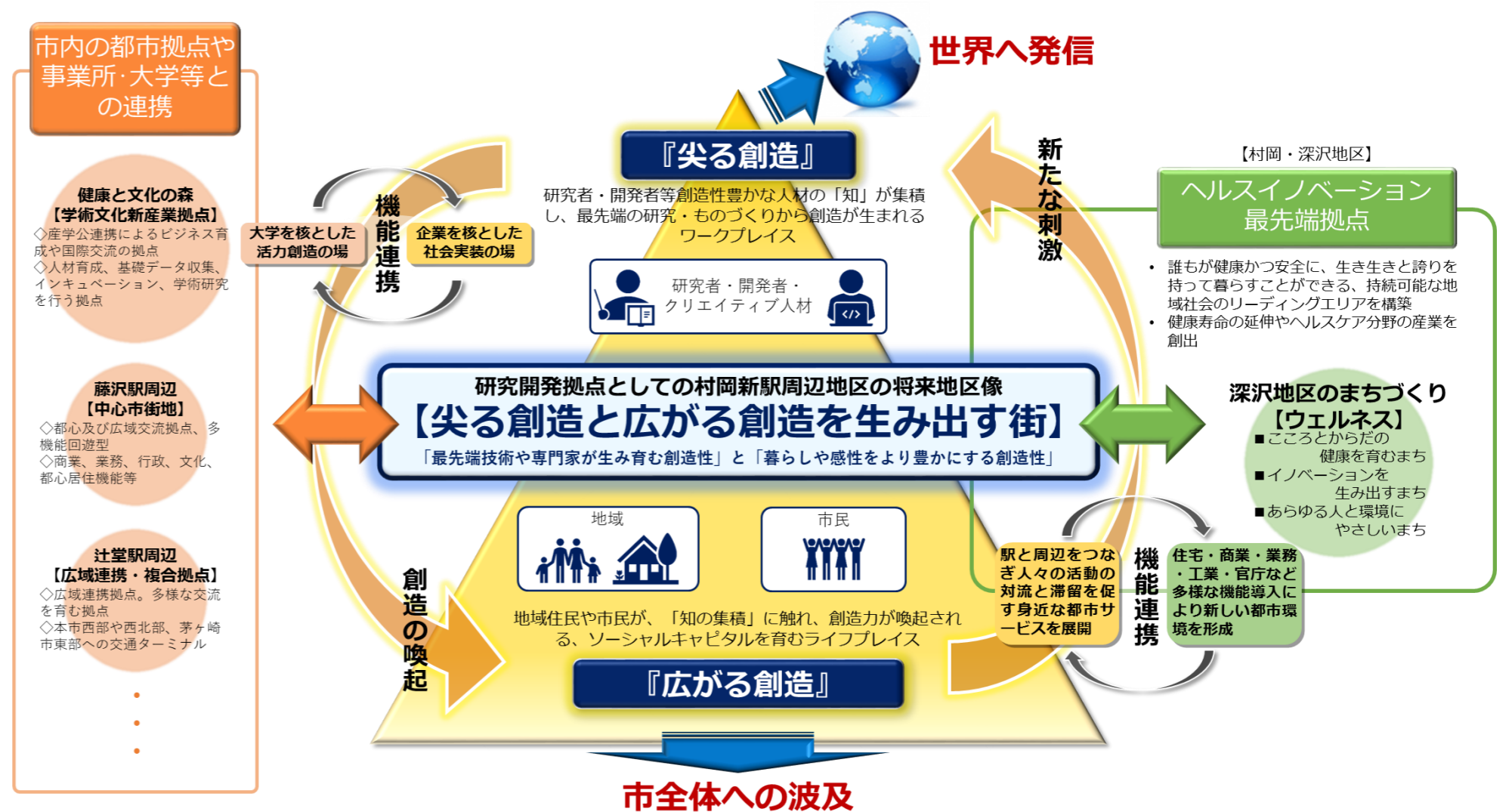
### 1 村岡新駅周辺地区でまちづくりを考える際のポイント

藤沢市の都市拠点である村岡新駅周辺地区では、研究開発拠点という位置づけを踏まえ、これからの時代にふさわしいまちづくりのあり方、そして持続的な取組みが求められています。

- ①都市拠点としてのあり方**  
**通常の研究施設集積とは異なる立ち位置へ**  
 研究者・開発者などのクリエイティブ人材とともに、地域住民・来街者等の交流人口を増やすために、新しい創造社会の形成に寄与するまちづくりが求められます。また、市内の拠点や隣接する深沢地区との機能連携による相乗効果も求められます。
- ②産業・経済基盤としてのあり方**  
**レジリエンスと環境性能を備えた街へ**  
 新しいビジネスチャンスの創出や事業継続性の高い産業エリアを構築するためには、都市災害等に対するレジリエンスや環境性能を備えた社会基盤を確保することが求められます。また、域内外の円滑で多様なアクセスの実現などが必要です。
- ③持続的な地域まちづくりのあり方**  
**官民が連携し「つくる」から「つかう」へ**  
 SDGsに基づいたよりよい社会実現を図りつつ持続的なまちづくりを進めるには、整備段階の「つくる」というだけでなく、どのように街を活用し、活力を高めるかといった「つかう（＝マネジメント）」視点も含め、官民連携・地域連携で街の価値を高める取組みが必要です。

### 2 村岡新駅周辺地区が目指す将来地区像

村岡新駅を中心に、知的人材の集積を活かし世界に誇る「尖る創造」と地域や市民と共に創り出す「広がる創造」が相互に作用することで好循環を生み出す、新たな研究開発拠点を形成します。



※「村岡新駅周辺地区まちづくり方針」は藤沢市ホームページでご覧いただけます。



